

## 第9回 府中市総合計画審議会会議録（要旨）

開催日時 平成29年6月28日（水） 午後2時半～午後4時10分

開催場所 府中市役所北庁舎3階第1・2会議室

出席委員 19名（50音順）

石阪 脩委員、岩崎 稔委員、奥 真美会長、加藤雅大委員、小島壽一郎委員、  
佐藤新悟委員、志水清隆委員、清水 勝委員、田中英樹委員、  
田村智恵美委員、都留 康委員、那須雅美委員、福田千夏委員、  
藤江昌嗣副会長、松村祐樹委員、森本 憲委員、結城 亮委員、吉野 誠委員、  
渡辺美由紀委員

欠席委員 11名（50音順）

伊藤敏春委員、金子弥生委員、小山有彦委員、鈴木錦治委員、田口俊夫委員、  
田中秀司委員、田辺十二子委員、長崎益治委員、濱中重美委員、  
牧野正雄委員、和田光一委員

出席説明員等

町田政策総務部長、矢ヶ崎政策課長、板橋政策課長補佐兼総合計画担当副主  
幹、大木政策課主査、桜田政策課総合計画担当理事

パシフィックコンサルタンツ(株) 田中氏

傍聴者 なし

議事日程

- 1 開会
- 2 確認事項
  - (1) 第8回府中市総合計画審議会会議録（要旨）について
- 3 報告事項
  - (1) 第8回府中市総合計画審議会意見への対応状況について
- 4 審議事項
  - (1) 第6次府中市総合計画後期基本計画（答申案）について
  - (2) 「府中市総合計画について（答申）（案）」について
- 5 その他

## 会 議 録（要旨）

**奥会長** ただいまから、第9回府中市総合計画審議会を始めます。まず、本日の委員の出席状況について、事務局より報告をお願いいたします。

**事務局** 事務局より、委員の皆様の本日の出席状況を報告いたします。  
（出席状況の報告）

**奥会長** 次に本日の傍聴希望について事務局から報告をお願いいたします。

**事務局** 本日は傍聴者なしです。

**奥会長** それでは、本日は傍聴者なしということになります。続きまして、本日の配付資料について、事務局より確認をお願いいたします。

**事務局** 本日の資料は、事前に郵送した資料6点となります。また、差し替え資料といたしまして、施策6、施策25の基本計画案、資料9-3-2を机上配付しています。  
（配布資料の確認・説明）

### 【確認事項】

#### (1) 第8回府中市総合計画審議会会議録（要旨）について

**奥会長** 第8回審議会の会議録につきましては、事前に郵送していただきましたので、各自ご確認いただいていると思いますが、修正すべき点などありますか。

**都留委員** 6ページの担当課の発言になりますが、「公立の中学に進学しない子どもが増えており」の内容に、“23区内では”などの言葉を補足する必要があると思います。

**奥会長** 担当課にご確認いただき、補足してください。補足することで、第8回審議会会議録として確定させていただきたいと思います。第8回会議の会議録及び資料を、市政情報公開室、中央図書館、ホームページ等で公開いたします。

## 【報告事項】

### (1) 第8回府中市総合計画審議会意見への対応状況について

**奥会長** 第8回審議会意見への対応状況について、ご報告をお願いします。

**事務局** 資料9-2「第8回審議会意見への対応一覧」について、ご説明します。(資料9-2の資料説明)

**奥会長** ご意見、ご質問等をお願いします。

**〇都留委員** 資料9-2で「重点プロジェクト4の記述に、主要課題や将来世代への投資、支えを重視する姿勢を反映」とありますが、具体的にどの部分に反映しているのでしょうか。

**事務局** 「プロジェクト4 健康で元気なまちづくり」の説明部分につきまして、具体的には、「少子高齢社会など社会の成熟化が進む中、まちの将来を担う子どもたちが元気で健やかに育つこと、そして市民一人ひとりが健康で元気に活躍することを支えていく仕組みづくり・環境づくりが、持続可能なまちの基盤をつくる取組として一層重要となります。」の部分が対応箇所となります。

**都留委員** ご説明で承知いたしました。もう一点、最後の発言機会だと思しますので、私の想いを発言させていただきます。前回会議は、意見を述べた後に中座してしまい申し訳ございませんでした。私が中座した後、どのような議論がなされたのかについては、会議録で確認させていただいております。その結果として、プロジェクト4の重点事業の順番を変更していただいたことは感謝しています。しかし、私としましては、重点プロジェクトの取り扱い、特にプロジェクト4の取り扱い方はとても残念に感じています。社会経済の情勢が変化し、総合計画を取り巻く環境も変化している中で、前期計画を踏襲すべきということを前提にのみ議論が進むことは適切でないと考えます。社会の変化に対して、府中市として積極的にどのように対応していくかという姿勢を明確に打ち出していく方がよかったですと思います。他の地域から見ても「府中市の取組は先進的である」、「府中市はこの問題についてどのように取り組んでいくのだろう」と注目されるようなものにしたかったと思っています。この段階で、もう変更できないことは承知していますが、とても残念な結果だったと総括します。

**奥委員** 都留委員のご発言内容につきましては、ご意見としていただくことになると思います。前回の会議にて、4つの重点プロジェクトの間に優先順位づ

けはないということの基本スタンスとして確認した上で、そうであれば、前期の計画を踏襲しましょうということで落ち着きました。ただし、プロジェクト4の重点事業の順番については、ライフステージに合わせた順番の方がすっきりしてわかりやすいということ、また、やはり子どもへの取組は優先的に取り組むべきものとして前面に出すことが望ましいことから、子どもに関する重点事業を最初に持ってきており、ここに都留委員のご意見が反映されていると認識しています。前回のその議論の場に都留委員はいらっしやいませんでしたが、そのような議論の結論として、今回の形に落ち着いたということでご理解いただきたいと考えています。

**藤江副会長** プロジェクト4について補足させていただければと思います。前期基本計画における「プロジェクト4 健康で元気なまちづくり」の記載内容と今回の後期基本計画案の内容を比較しながらご確認いただきたいのですが、前期計画と比較して、今回の案では、重点事業の中の説明文章として、「本市の喫緊の課題である待機児童解消に向け、市内における教育・保育の提供体制の整備を計画的に進めます。」という内容が追記されています。他地域においても待機児童は喫緊の課題として認識されている中で、府中市として、重点プロジェクトという位置付けの中で、このように問題を明確化したということは注目すべき点であると認識しています。また、この待機児童の問題が、縦割りではなく、ハードからソフトまで様々な分野が連携して取り組まなくては解決できないものであるということは、これまでの議論を通して、共有できていると思っています。今後、重点プロジェクトとして取り組んでいくにあたって、記載されている内容のとおりに進めていただきたいと考えています。

**○奥会長** 改めまして、プロジェクト4の内容、また、その他の点につきまして、今回の案でよろしいでしょうか。

**委員一同** （意義なしとの声あり）

**奥会長** それでは、第8回審議会で出された意見に対する素案の修正について了承したいと思います。

## 【審議事項】

### (1) 第6次府中市総合計画後期基本計画（答申案）について

**奥会長** 次に次第4「審議事項」に移ります。(1)第6次府中市総合計画後期基本計画（答申案）について、事務局説明をお願いします。

**事務局** 「答申案における修正事項について」及び資料9-3-2「答申案修正箇所一覧」をもとに、修正箇所の主な点についてご説明します。(「答申案における修正事項について」及び資料9-3-2をもとに、資料9-3-1「第6次府中市総合計画後期基本計画（答申案）」の修正箇所を基本目標ごとに説明)

**奥会長** 基本目標1について、ご意見、ご質問等をお願いします。

**那須委員** 目次にある「分野別施策」と23ページの「分野別の施策」は、表記を統一してください。

**都留委員** 施策9の表現について、施策の方向性の3つ目に、「ひとり親家庭が経済的・精神的に自立した生活を送ることができるよう～」という表現があります。前期基本計画では、経済的自立のみが書かれていましたが、今回の内容では、ひとり親家庭が自立的でなく従属的であるというニュアンスを感じる恐れがあり、表現として不適切ではないでしょうか。

**奥会長** 「経済的・精神的に自立した生活～」ではなく、「経済的・精神的に安定した生活～」と修正してはいかがでしょうか。

**奥会長** 施策12の施策指標はこれで良いと思いますが、指標の順番を1つ目に相談件数、2つ目に就労者数に入れ替えた方がよいと思います。

**藤江副会長** 先ほどの施策9の表現について、この施策では、「自立」という言葉をキーワードにしている事務事業名などもあるため、それらに影響しないよう修正する必要があると思います。自立や安定を求めている世帯に対して支援していくということがわかるように表現を工夫すればよいのではないのでしょうか。

**都留委員** 問題意識については現状と課題の中で明記されており、市民意識調査の結果、ひとり親家庭の4割以上が非正規雇用であるという実態の中で、これらの家庭に対して就業につながる資格取得支援などを行っていくというのが

基本的な方向性だと思います。この趣旨が一貫していればよいと思うのですが、「精神的な自立」などの表現が入ることで、この方向性がぼやけて見えてしまいます。

**森本委員** 施策の方向性の3つ目の表現を、経済的自立と精神的安定と分けて記載してはどうでしょうか。

**藤江副会長** ひとり親家庭全体をまとめて表現していることが問題だと思いますので、森本委員がおっしゃるように、それぞれに分けて丁寧に説明する必要があります。

**奥会長** ご意見を踏まえ、事務局は適切な表現への修正を検討してください。

**奥会長** 基本目標2について、ご意見、ご質問等をお願いします。

**委員一同** （特になしとの声あり）

**奥会長** それでは、基本目標2については、この内容で了承したいと思います。

**奥会長** 基本目標3について、ご意見、ご質問等をお願いします。

**那須委員** 表現に統一については横並びで確認いただいたということなので確認させていただきたいのですが、施策47の「郷土学習」と施策51の「ふるさと学習」とは、同じようなものを指していると思いますので、「ふるさと学習」に統一した方がよいのではないのでしょうか。また、施策51の文章中でも、ふるさと学習について、「」があるものとないものが混在しているため、統一する必要があります。

**事務局** 施策47の「郷土学習」と施策51の「ふるさと学習」については、それらの意味合いも確認し、統一してよいか担当課に確認します。「」の有無については統一します。

**那須委員** 施策51の施策の方向性3つ目の文章の中の「～充実にを図ります」の「に」は不要なので削除してください。

**奥会長** 那須委員からご指摘いただきました。答申案全体を通じて、文章表現が適切かどうか再確認してください。

**奥会長** 基本目標4について、ご意見、ご質問等をお願いします。

**委員一同** （特になしとの声あり）

**奥会長** それでは、基本目標4については、この内容で了承したいと思います。

**奥会長** 行財政運営について、ご意見、ご質問等をお願いします。また、全体を通じていかがでしょうか。また、もし今後お気づきの点があれば、事務局にご連絡ください。

**岩崎委員** 起草委員会の中で申しあげたのですが、この府中市総合計画が第6次の計画であることはよくわかりますし、全体像もしっかりと書き込まれていると思うのですが、読み手の立場からすると、昭和29年に市政がスタートして以来、この6次にいたるまでの経緯を振り返って、この計画が現在どこに位置づけられているのかということも書かれていると、わかりやすく、理解も深まるのではないかと思います。このような内容は、今回の本文とは異なる位置付けとして、例えばコラム的に取り扱うなどの対応も可能かと思えます。以前に発言して以来、ご検討いただいているものと思っておりましたが、今回特にご説明がなかったもので、再度発言させていただきました。

**奥会長** この点につきましては、いかがでしょうか。

**事務局** 岩崎委員からご提案のございました総合計画のこれまでの経緯につきましては、必要な資料として認識しております。今後、計画書として冊子を作成する段階で、基本構想の掲載方法などと併せて検討させていただきます。

**都留委員** 14ページに掲載している重点プロジェクトの写真は、後期基本計画では、より適切なものに見直していただきたいです。

**事務局** 14ページは、イメージが伝わるようにということで、前期基本計画の写真そのまま掲載していますが、後期基本計画を冊子としてまとめる際には写真の内容を見直させていただきます。また、その他の部分につきましても、

計画書の冊子を作成する際に、写真や補足情報の追加などを行わせていただく予定です。

## (2) 「府中市総合計画について(答申)(案)」について

**奥会長** 最後に、(2)「府中市総合計画(答申)(案)」についてに移ります。事務局説明をお願いします。

**事務局** 資料9-4「府中市総合計画について(答申)(案)」について、ご説明します。(資料9-4の資料説明)

**奥会長** 本審議会において、市に答申を提出する際の鑑の文章となります。文章表現としてはまだまだ精査する余地があると思っておりますが、盛り込むべき内容に抜け落ちがないかという視点でご確認いただきたいと考えております。

1には、基本計画は基本的に市が策定するものであるという認識のもとに、別添の後期基本計画の内容を踏まえて着実に施策を推進いただくよう配慮してくださいということを書いております。また、厳しい財政状況や少子高齢社会などの社会の成熟化にある中でも、答申に盛り込まれた内容は着実な推進をお願いしたい旨を書いております。なお、今申しあげた部分については、1の中に記述するのではなく、次に項目を一つ追加して取りまとめていきたいと考えています。

2として、様々な市民の意見やご提案をいただく場を経てこの答申が作成されたということ、特に「協働」の視点が新たに盛り込まれたことが特徴であるということを書いております。

また、3として、協働で取り組んでいくにあたっては、その主体である市民に対して丁寧に説明し、ご理解・ご協力いただくことが必要不可欠であることを書いています。また、施策や事業の推進にあたっては、引き続き、市民からの意見や提案を踏まえていくことが重要であるということを書いております。

そして、4は、計画策定後の進行管理のあり方についてですが、進捗状況を把握して公表することだけでなく、進捗状況を的確に把握してさらなる改善を図っていくための効果的な評価の仕組み、この中には外部評価を取り入れることなども含まれると思っておりますが、これらの仕組みについても併せて検討していただくということを書いております。意図するところは、今申しあげたような内容ですが、この他に何か盛り込むべき内容はございますか。

**都留委員** 今、資料9-4の内容を会長の言葉で言い換えて詳細にご説明いただいたと思いますが、その内容に賛成です。この資料9-4の2では、「新たなニーズや課題等」という抽象的な表現で書かれていますが、今の会長のご説明



ですと、少子高齢化などの具体的な内容が盛り込まれていくという理解でよろしいでしょうか。

**奥会長** 先ほどの私の説明は、厳しい財政状況や少子高齢社会などの社会の成熟化という状況を1の中ではなく、2として記述し、現在の2は3となって、今の内容を受ける形で記述していきたいという意図の発言でしたが、いずれにしても、新たな課題としてどのようなものがあるのかということも補足した方がよいということでしょうか。

**都留委員** そのように補足いただければと思います。

**奥会長** ご意見を踏まえ、工夫をさせていただきます。

**藤江副会長** 2の内容ですが、後半のところに、「特に市民に対しては、『期待すること』だけでなく、『協働で取り組むこと』を新たに掲げています。」と書かれています。前期基本計画では、市民と市のそれぞれの役割を分けて、市の立場は書かずに「市民に期待すること」として協働が表現されていましたが、後期基本計画では、市民も市も含めて協働で取り組むことを記述したというのが事実だと思います。今の書き方ですと、協働が市民だけの役割のように取られかねないので、後期基本計画での修正内容が伝わるように、表現には工夫が必要だと思います。また、「『協働で取り組むこと』を新たに掲げていますので、この点を十分に意識するようお願いいたします。」という表現も失礼に当たらないか心配です。

**奥会長** 言い回しなども含めて大きく変更することになりそうなので、修正した内容は皆様に事前にご確認いただきたいと思います。盛り込むべき内容については、抜け落ちはなかったということでもよろしいでしょうか。

**委員一同** （意義なしとの声あり）

**奥会長** それでは、いただきましたご指摘を踏まえて、表現等を修正したものを、皆様にお送りさせていただきます。

#### 【その他】

**奥会長** 最後に次第5「その他」に移ります。委員の皆さまから何かありますか。事務局から何かありますか。

**事務局** 次回の第10回審議会は7月12日(水)午後3時30分から、本日より同日北庁舎3階第1・2会議室での開催となります。開催時間をお間違えないようお願いいたします。

**奥会長** 以上をもちまして、第9回府中市総合計画審議会を閉会いたします。委員の皆さま、ありがとうございました。次回もどうぞよろしくお願いいたします。

以上